

{ 未来へつなぐ 市民外交 }



リピーターの
松山さんファミリー（北方町）

私は10年程前、こちらの交流事業に参加しました。交流を通して自分の英語力を実践できることが、緊張しつつ楽しかったことをよく覚えています。加えて、異文化を持つ相手と同じ経験をする大切さを学べたことが大きな財産になりました。受け入れの際、私たちと同じように

お箸で和食を食べてみたい、と挑戦するホストファミリーを見て、日本文化に歩み寄ってくれた姿勢を家族全員で喜んだものです。社会人となった今、未知なこともまずは挑戦して楽しむ姿勢に私も倣いたいと思う日々で、この交流に参加できて本当に良かったと思っています。

中学生派遣団も2世代へ

犬走さん親子 大渡さん親子 浦郷さん親子

24年前に父である私も味わった素敵な経験を子どもにもと思っていました。娘はホームステイを機に異文化コミュニケーションへの興味がさらに高まったようです。世界平和実現のためにもこの交流がずっと続いてほしいです。

「アメリカにも親友が欲しい!」と参加したジョン。親友をこえて、家族が増えたことを実感した幸せな時間でした。親子で体験と感動を共有できたこと、派遣・受入れと保護者の気持ちを感じることができたこと、今後のTWFの活動にぜひ活かしていきたいと思えます。

約30年の時を経て、再び我が家に受け入れたセバストポールからの友人。今も昔もお互い言葉の壁を乗り越えようとする日々は何よりも貴重な経験でした。何とかコミュニケーションをとる娘の姿を見て、この機会に改めて感謝しています。



今回ホームステイを初めて体験された
古川さんファミリー（橋町）

今回の受入期間は、驚くほど時間の流れが早く瞬間に過ぎていきました。私個人としては、リリーと一緒にどこかへ出かけて、アクティブに遊んで・食べて・買い物して…なども楽しかったのですが、朝食後ソファでゆっくりコーヒーを飲んでいる時や夕食後リビングでゲーム・おしゃべりして盛り上がっている時、車内でノリノリで合唱している時がたまらなく好きでした。たかが10日間…されど10日間…一緒に暮らしたこの時間は、とても密度の濃い、かけがえのないものとなりました。「出会いが人を…人生を変える」ある著書で見た言葉ですが、リリーとの出会いは娘にとって、そして私たち家族にとっても新たな家族ができた、そんな素晴らしい出会いでした。今「I miss you.」の意味を心から実感しております。家族みんな、リリーロスです。



{ 交流40周年を迎えて }

～世界平和ともだちひとりずつ～

お互いに家族のような仲になり、すでに40年という月日が経ちました。1985年に始まった姉妹都市交流、お互いの市を行き来した市民は延べ800名を超えています。たくさんの方々のおかげで、この交流が続けられていることに感謝の気持ちでいっぱいです。残念ながら、40年前の当時のことを知る人は、双方ともに少なくなりました。この素晴らしい交流のきっかけを作ってくくださった先輩方への感謝、交流の意義、そしてこれからも末永く続けていきたいという熱意を改めて感じております。

中学生が約二週間、親元を離れ体感する異国でのホームステイは、想像以上に大変です。ホームシックになってしまう子もいます。でもそんな子ども達も温かく包んでくれる家族や仲間の存在に助け

られ、自信と達成感に満ち溢れて帰国します。そのような感動を共有できることが、ボランティアをしていて嬉しい瞬間です。

『友人同士は戦争なんかしません。この小さな交流が世界平和という大きな交流へ繋がることを願っています』 両ワールドフレンズが大切にしている言葉です。この想いを大切にしながら、たくさんの市民の皆様と国際交流を楽しんでいきたいと思っています。



たけおワールドフレンズ会長
大渡 幸雄 他一同

記念イベント



姉妹都市交流
40周年記念式典

武雄市から両市のワールドフレンズへ長年の活動に対し、感謝状を贈呈。



人文字撮影

姉妹都市交流40周年を記念して、イベント参加者全員で「友」の人文字を作り、記念撮影を行いました。



記念植樹式

3～4月に花を咲かせるヒメシャリンバイの植樹を市役所駐車場にて行いました。

※今後も40周年を祝うイベントが武雄市内やセバストポール市で計画されています



たけおワールドフレンズの活動はこちらの動画をご覧ください。



募集要項等は、中学校とたけおワールドフレンズfacebookを通じて、秋以降にお知らせ予定です。随時、ご確認ください。



Sebastopol info3

アート



セバストポールには街の各所に公開されているアートがあり、街を歩きながら気軽にアートを楽しむことができます。オーク・グローブ公園などには、地元アーティストによる彫刻やモニュメントが設置されており、散歩しながらアートを堪能できます。